F 試験実施後

1　正解・平均点等の発表

⑴　正解等の発表

大学入試センター試験の本試験，追試験・再試験の正解及び配点については，各日の全試験終了後に，その日行われた科目分を大学入試センターのホームページ（➔裏表紙）で発表します。

⑵　平均点等の発表

大学入試センター試験の平均点等については，令和 2 年 1 月 22 日（水）に中間発表を，2 月 6 日（木）に最終発表を，大学入試センターのホームページ（➔裏表紙）で行う予定です。

2　得点の調整

⑴　得点調整について

大学入試センター試験の本試験において次の各科目間で，原則として，20 点以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には，得点調整を行います。

ただし，受験者数が 1 万人未満の科目は得点調整の対象としません。

① 地理歴史の「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」の間

② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間

③ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」の間

⑵　得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無については，令和 2 年 1 月 24 日（金）（予定）に発表し，得点調整を行う場合は，対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（➔裏表紙）で公表します。

⑶　得点調整の方法

① 得点調整は，⑴の①～③のグループごとに，「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。

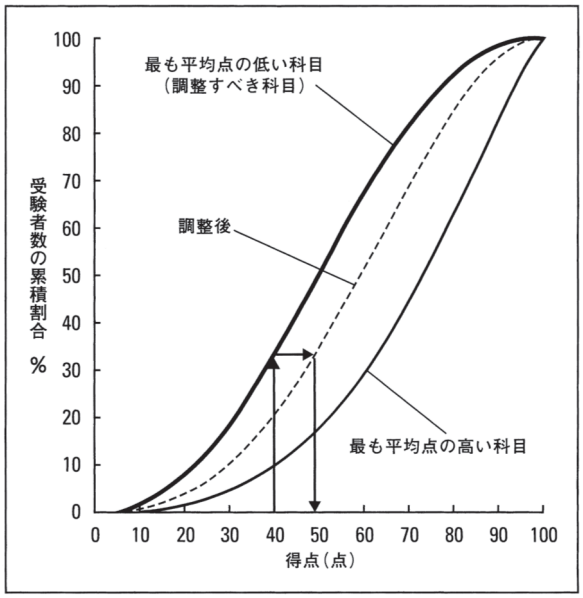
② 得点調整に当たっては，対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から，平均点差の全てを調整するのではなく，調整後も平均点差が 15 点（通常起こり得る平均点の変動範囲）となるようにします。

＊　「分位点差縮小法」とは，得点調整の対象となる科目のうち，最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し，図の縦軸の受験者数の累積割合（%）が等しい点（等分位点）の差（分位点差）を，一定の比率で縮小する方式です。

また，平均点が最大及び最小以外の科目についても，素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は，15 点÷（最も平均点の高い科目の平均点－最も平均点の低い科目の平均点）とします。

この方式により，最も平均点の低い科目の得点の累積分布は，図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり，横軸上の素点から矢印に沿って進み，再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。

得点の累積分布図



3　試験成績の大学への提供方法

⑴　大学入試センターは，大学入試センター試験を利用する各大学からの請求に基づき，当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績を，請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については，大学入試センター試験出願前までに，各大学の募集要項等で確認してください。

⑵　「国語」の特定分野を利用する大学へは，「国語」の得点とは別に出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文，漢文）」）の得点も提供します。

⑶　「地理歴史，公民」及び「理科②」の試験時間において 2 科目を受験した場合は，大学からの請求に基づき「第 1 解答科目，第 2 解答科目別の得点及びその合計点」又は「第 1 解答科目の得点」のいずれかを提供します。

なお，大学が 1 科目のみの得点を利用する場合には，**第 1 解答科目の得点を優先して利用する**ことがありますので，必ず，志望大学の募集要項等で確認してください。

⑷　「理科①」の成績については，選択した科目別の得点及びその合計点を提供します。

⑸　「英語」の成績については，筆記，リスニング別の得点を提供します。

⑹　大学入試センター試験を利用する各大学の教科・科目の指定と，指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると，次表のとおりです。

入学志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
国語，外国語の 2 教科から 1 教科選択	当該大学の入学志願者が国語，外国語を受験していれば，この 2 教科の得点
「物理」「化学」「生物」「地学」の 4 科目から 1 科目選択	当該大学の入学志願者が「理科②」で 2 科目を受験した場合，第 1 解答科目として「物理」を，第 2 解答科目として「化学」を解答していれば，大学からの請求に基づき，この 2 科目の得点とその合計点，又は第 1 解答科目の「物理」の得点のいずれか